

お世話になりました

伊澤 朝元

昭和43年(西暦1968年)の入庁以来37年間、この間、水産課においての水産振興に携わる期間が最も長く25年間を過ごし、その他土木分野や商工分野、或いは海区漁業調整委員会事務局等の業務にも携わり、それぞれの分野で様々な色々な体験学習をさせていただきました。この中でもやはり最も長くお世話になりました水産課での思い出が良し気に付け、悪し気に付け走馬燈の如くに脳裡を流れます。しかしながら、思い出はひとり大事にしておくものと思っております。県庁生活最後の2年間を水産研究所で過ごさせていただき、漁業者と会話し、季節毎の漁獲物に接し、楽しく過ごさせていただいた中で、漁業の魅力を再認識させていただきました。アワビやサザエなどの磯物と言われる資源、カツオやマグロ類に代表される大型外洋回遊魚資源、アオリイカやイワシ類などの資源を様々な漁法で獲っておられる漁業者、資源が減ったと言われながらも目下ずに頑張る、明るい元気な姿に水産研究所の使命を垣間見る思いで、研究員を叱咤激励するばかりでした。地方分権が唱われ、実際に主権が地方に移行されつつある現状の中、厳しい地方財政に思い通りの研究予算も厳しい競争に曝され、勝ち抜いて獲得するという状況であり、様々な漁業者が望む研究課題も一朝一夕に行かず、仲々日の目を見ない試練に立たされています。

こうした中においても「漁業者に力を」と頑張ってくださいることを研究員の皆様をお願いしながら、退職のご挨拶とさせていただきます。

たいへん永らくに涉りましてお世話になりました。ありがとうございました。